

## Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/11/13

### Forex

|           | Close  | CHANGE  |
|-----------|--------|---------|
| USD/THB   | 34.83  | 0.30    |
| JPY/THB   | 0.2253 | 0.0006  |
| USD/JPY   | 154.61 | 0.89    |
| EUR/THB   | 37.01  | 0.22    |
| EUR/USD   | 1.0623 | -0.0032 |
| USD/CNH   | 7.243  | 0.015   |
| SGD/THB   | 26.03  | 0.15    |
| AUD/THB   | 22.75  | 0.05    |
| USD/INR   | 84.39  | 0.01    |
| USD Index | 106.02 | 0.48    |

### Bond

|           | Close | CHANGE |
|-----------|-------|--------|
| 5Y (THB)  | 2.209 | -0.003 |
| 10Y (THB) | 2.435 | -0.005 |
| 5Y (USD)  | 4.314 | 0.122  |
| 10Y (USD) | 4.428 | 0.123  |

### Commodity

|           | Close   | CHANGE |
|-----------|---------|--------|
| GOLD      | 2,606.3 | -11.4  |
| WTI (Oil) | 68.12   | 0.08   |
| Copper    | 9,142.0 | -189.5 |

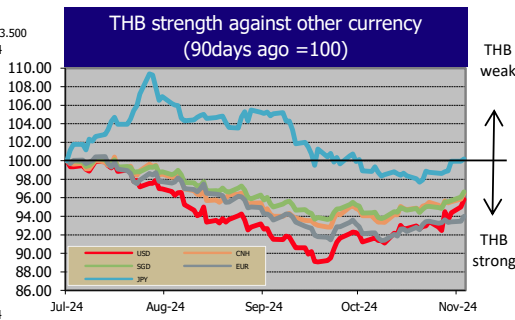
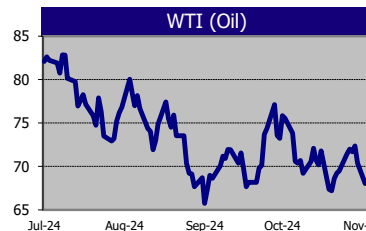
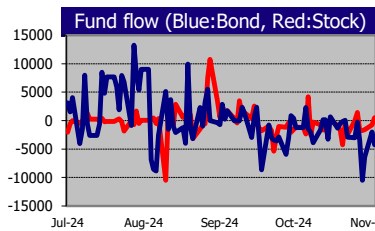
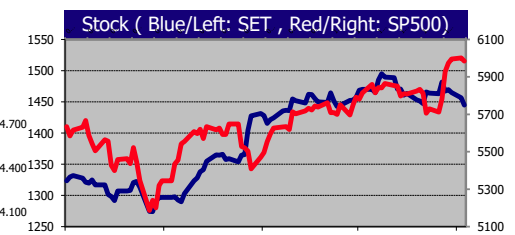
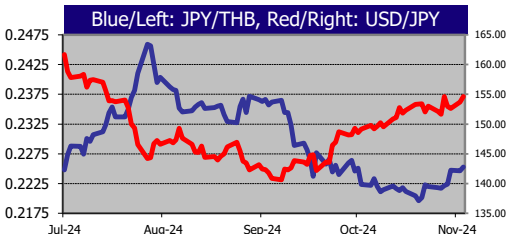
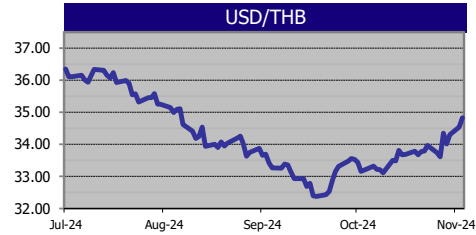
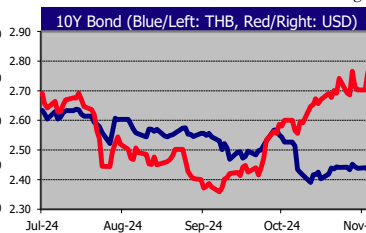
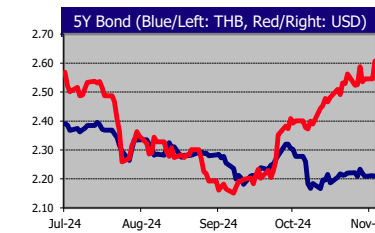
### Stock

|             | Close     | CHANGE  |
|-------------|-----------|---------|
| SET (TH)    | 1,445.07  | -11.40  |
| NIKKEI (JP) | 39,376.09 | -157.23 |
| DOW (US)    | 43,910.98 | -382.15 |
| S&P500 (US) | 5,983.99  | -17.36  |
| SHCOMP (CN) | 3,421.97  | -48.10  |
| DAX(GER)    | 19,033.64 | -414.96 |

### Fund Flow (Overseas Investors)

|                | Close   | CHANGE  |
|----------------|---------|---------|
| Stock net flow | 509     | 1265.1  |
| Bond net flow  | (4,240) | -2227.4 |

\*compared with previous day  
(Source: Bloomberg)



### Yesterday's market summary

#### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。34パーツ台半ばの水準で取引を開始。米議会選挙で「下院についても共和党が多数派を確保」との報道にドル買いが進んだことに加え、タイ中銀の新理事長に「セタブット・同銀総裁に批判的な人物が選出」との報道でパーツが下落。ドルパーツはバンコク時間午前中に34パーツ台後半まで上昇すると、以降も底堅く推移。海外時間に入っても流れは変わらず結局34.83レベルでクローズを迎えた。

#### ●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。153円台半ば付近の水準で取引を開始。米議会選挙において、下院でも共和党が多数派となることが確実と報じられる中、ドル円は上昇。一時154円台に乗せるも、滞空時間は短いものとなり、早々に153円台半ばまで下落した。ただ、海外時間に入ると米金利の上昇を背景にドル円も反転上昇する展開に。再び154円台に乗せると、勢いは止まらず一時154円台後半まで上値を伸ばす場面を見せた。終盤にかけては154円台半ばまで反落し、154.61レベルで引けた。

### Bangkok Dealer's Eye

9月末に今年の底値をつけたドルパーツは、10月以降じりじりとパーツ安が進んでいる。タイでは10月に予想外の利下げもあったが、基本的にはトランプトレードや米国経済一強を見込む向きによるドル買いが今の相場のドライバーと考える。ただし、足元のパーツ安の動きについては、そうしたドル高相場に加え、パーツと相関性の高い人民元が弱含んでいることも背景の一つに挙げられるかもしれない。中国で先週末8日に閉会した全人大常務委員会については、事前報道にあった対策を超える内容が打ち出されなかったことから、やや期待外れだったと受け止める向きが多い。翌9日に発表されたCPIやPPIはともに予想と前回値を下回り、同国がデフレを払拭できない様子が確認されると、今週に入りドル人民元はあっさり節目となる7.20を突破した。8月以降、中国人民銀行は仲値を実勢レートに追随させており、これまでのところ特段の意思は感じられないものの、ここからは元安抑制のために仲値を実勢よりも元高水準に設定してくる可能性があり、そのタイミングには留意する必要がある。中国では、今月下旬に共産党中央政治局会議、来月に中央経済工作会议と、注目度の高い会議が続く。会議に向けて期待が高まっては、その内容に失望する、という展開も起こりえるため、パーツへの影響も大きい事象として、中国そして人民元の動向は、よくよく注目しておくようにしたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.